震災復興 進もう！次の東北へ

記者発表資料

令和5年度
三陸国道事務所の事業概要について

令和５年度 東北地方整備局 三陸国道事務所管内の事業概要をお知らせします。

令和5年 3月31日

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

発表記者会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北建設専門紙記者会

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 代表電話（0193）62－1711

副所長（改築） 馬場 裕之（ばば ひろゆき） （内線 204）

副所長（管理） 香木 和義（こうのき かずよし） （内線 205）

1．令和5年度（2023年度）当初予算の概要

三陸国道事務所の令和5年度当初予算は下表のとおりとなっています。

「国民の安全・安心の確保」、「経済社会活動の確実な回復と経済好循環の加速・拡大」、「豊かで活力ある地方創りと分散型国づくり」を3本柱として、令和4年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図ります。

（単位：百万円）

事務所	区分	令和5年度 当初予算	令和4年度 補正予算	令和4年度 当初予算
三陸国道	国土交通省計上分	2,130	640	1,735

※当初予算額は、事業費を示す。
※事業費は、業務取扱費、維持管理費、交通安全事業（Ⅱ種）を除く。

2．主な事業の概要

【継続事業箇所】

事業区分		事業名	市町村名	完成予定・開通目標年度	R5事業費（百万円）	R5主な事業内容
道路	直轄	国道４５号　山田改良	山田町	—	80	調査設計
道路	直轄	国道４５号　三陸沿岸道路（侍浜 ～ 階上）	青森県三戸郡階上町～岩手県久慈市	—	440	調査設計、支障移転補償、改良工事、橋梁工事
道路	直轄	国道１０６号　田鎖蟇目道路	宮古市	—	530	調査設計、用地買収
道路	直轄	国道１０６号　箱石達曽部道路	宮古市	—	150	調査設計
道路	直轄	国道４５号　神林地区電線共同溝	宮古市	—	178	調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　磯鶏地区電線共同溝	宮古市	—	195	調査設計、本体工事、（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　石崎地区電線共同溝	宮古市	—	110	調査設計、支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　藤原地区電線共同溝	宮古市	—	110	支障物移設、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（下安家地区歩道整備）	野田村	—	162	調査設計、用地買収、工事
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（宿戸歩道整備）	洋野町	—	90	工事
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（種市歩道整備）	洋野町	—	85	調査設計、工事

令和5年度 三陸国道事務所 事業箇所図

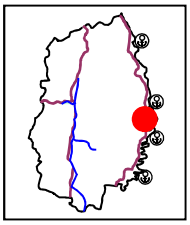


国道45号　山田改良

R5:80百万円

継続	岩手県下閉伊郡山田町	道路	直轄

【事業の概要】
　国道45号の防災上の隘路を回避するため、三陸沿岸道路の山田北ICに、北方向の乗り降りを整備することにより災害時の道路ネットワーク機能の確保を目的とした事業です。



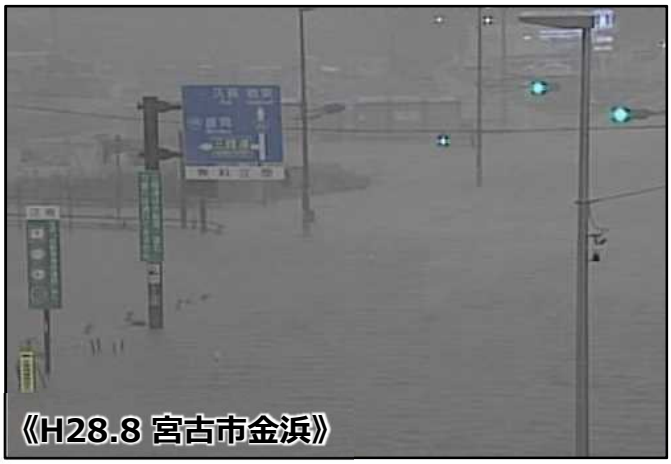


該当箇所	○

【整備効果】
　防災上の隘路を抜本的に回避し、災害時においても救急搬送ルートを確保します。



▲大津波で寸断された国道45号【写真①】



▲台風で冠水した国道45号【写真②】

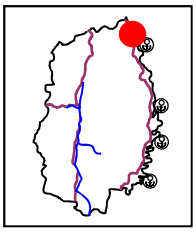
【令和5年度の事業内容】
　調査設計等を実施します。

国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）

R5：440百万円
（岩手県分）

継続	青森県三戸郡階上町～岩手県久慈市	道路	直轄

【事業の概要】
三陸沿岸道路（侍浜～階上）は、八戸・久慈自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。







【整備効果】
○防災拠点への迅速な支援ルートが確保され、津波災害時の備蓄・支援物資供給活動及び、災害医療活動を支援します。
○東日本大震災以降に設定された「三陸ジオパーク」や「みちのく潮風トレイル」などの広域周遊観光を支援します。







「岩手県広域防災拠点配置計画」（平成26年3月）により、二戸市を沿岸被災地の後方支援活動を行う拠点に位置づけ。物資が不足した場合及び、災害医療活動は県央部の広域支援拠点から支援活動を行う。



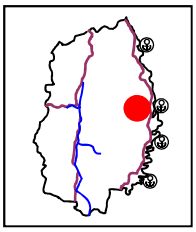
【令和5年度の事業内容】
洋野種市ICの整備に向けて、調査設計、支障移転補償、改良・橋梁工事等を実施します。

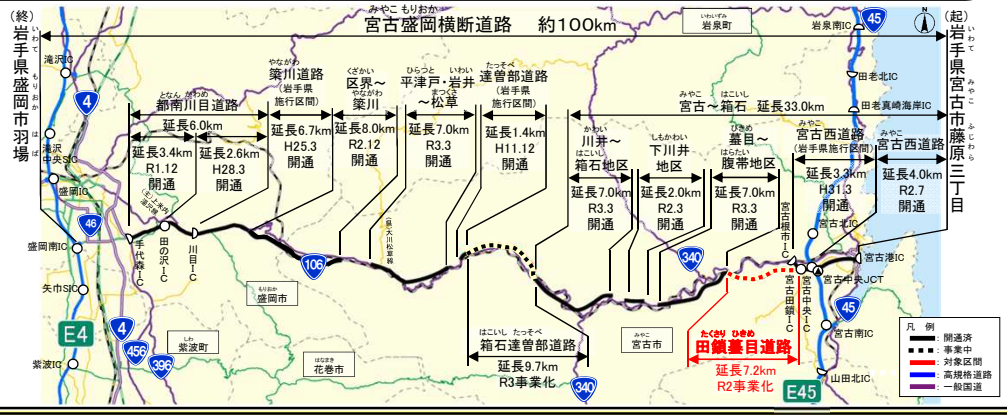
国道106号　田鎖蟇目道路（たくさりひきめ）

R5：530百万円

継続	岩手県宮古市田鎖（たくさり）～蟇目（ひきめ）	道路	直轄（みやこ）

【事業の概要】
　田鎖蟇目道路は、国道106号の防災機能強化を図るとともに、沿岸部と内陸部を最短で結ぶ幹線道路ネットワークを形成し、救急医療活動や広域周遊観光拡大の支援などを目的とする自動車専用道路です。

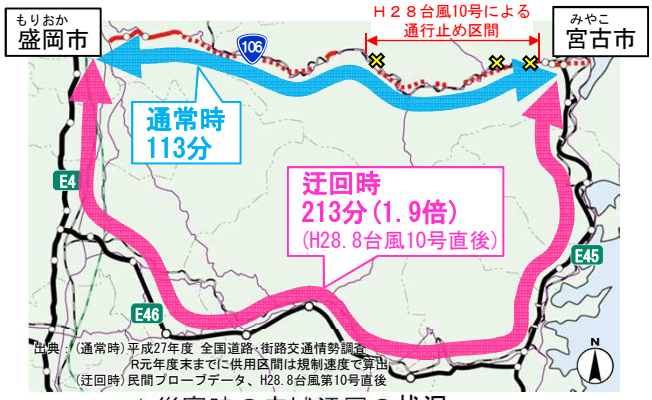




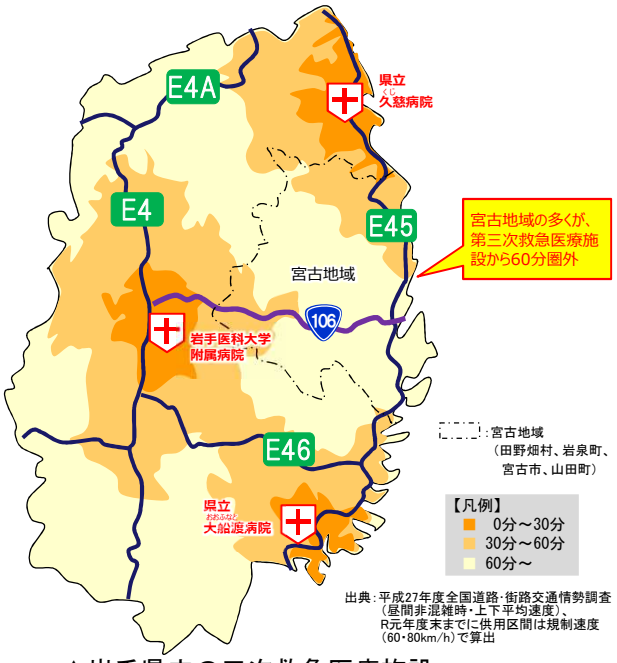
【整備効果】
○国道106号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保します。
○三次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援します。



▲国道106号の被災状況（平成28年8月台風10号災害）



▲災害時の広域迂回の状況



▲岩手県内の三次救急医療施設

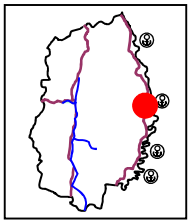
【令和5年度の事業内容】
　調査設計、用地買収等を実施します。

国道45号　磯鶏（そけい）地区電線共同溝

R5：195百万円

継続	岩手県宮古（みやこ）市	道路	直轄

磯鶏地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。





出典：地理院地図に情報等を追記して掲載

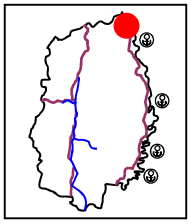


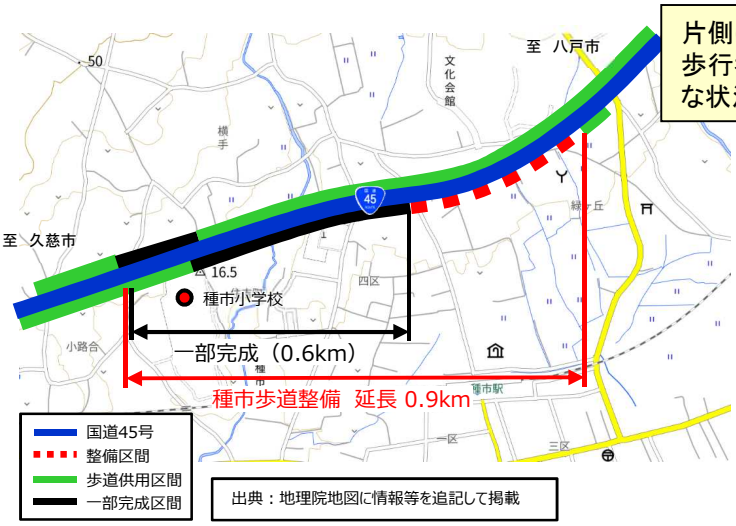
国道45号 岩手45号交通安全対策（種市（たねいち）歩道整備）

R5：85百万円

継続	岩手県九戸（くのへ）郡洋野（ひろのちょう）町	道路	直轄

当該区間は小学校の通学路であるが、片側歩道となっており、乱横断等が発生しているため、両側歩道整備を行う事業です。





出典：地理院地図に情報等を追記して掲載

片側にしか歩道が整備されておらず、歩行者が乱横断するなど、非常に危険な状況



▲乱横断の状況

【その他】事務所の取り組み

【道路管理】 道路構造物の老朽化対策

橋梁やトンネルなどの道路構造物は、建設後長期間を経過していることから、定期的な点検による健全度の把握と計画的な補修・補強を実施することで、構造物の長寿命化を推進します。

〈基本的な事項〉

予防的な保全を目指した維持管理

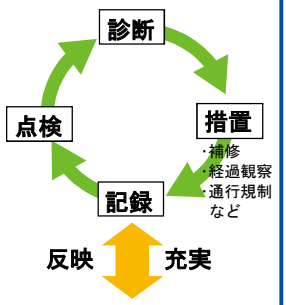
維持管理の頻度を定めた計画的な点検の実施

構造物の健全度を一定の尺度で診断

点検、診断、措置の記録作成、保存など

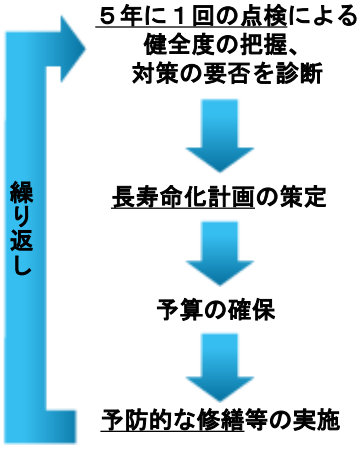
メンテナンスサイクル

「点検⇒診断⇒措置⇒記録」の業務サイクルを通じて、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築



長寿命化計画

５年に１回の点検に基づく長寿命化の取り組み





点検支援技術による橋梁点検



点検支援技術によるトンネル点検

【道路管理】 修繕・除雪

道路空間を良好に保ち、道路を快適で安心安全に利用出来るよう努めていきます。



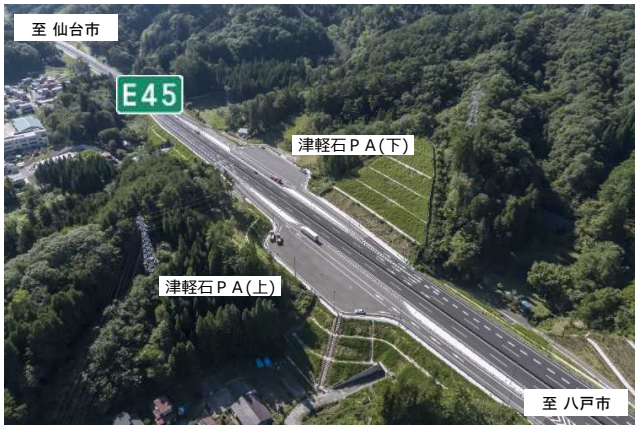
▲舗装修繕の様子



▲除雪(凍結抑制剤散布)の様子

【交通安全】 休憩施設整備

三陸沿岸道路　津軽石PAについて、トイレの設置に着手し、三陸沿岸道路の休憩機能の充実を図ります。



▲供用中の三陸沿岸道路　津軽石PA（宮古市）